

東名古屋病院だより

平成27年10月発行 第63号



9月16日名城大学薬学部管弦楽部の皆さんによる第10回ふれあいコンサート風景
(毎年9月に当院外来ホールにて、開催しております。)

理 念

私たちは、医の倫理を守り、患者さんの気持ちを尊重し、
より質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんへの医療内容の説明と患者さんの同意を医療の基本とします。
2. 地域に密着し、心の触れ合いを大切にした医療を提供します。
3. 常に自己研鑽に励み、医療人としての専門的知識・技術の習得に努め、皆様に信頼される安全で最新の医療を提供します。
4. 健全な経営を維持して療養環境の整備に努め、安心して快適に療養できる病院を目指します。

目 次

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 2 P : 巻頭言 | 7 P : 職員募集 |
| 3 P : 病気とのつきあい方 | 8 P : トピックス
(高校生1日看護体験を開催して) |
| 4 P : 看護部紹介 | 9 P : 地域医療連携室 |
| 5 P : 部署紹介 | 10 P : 外来案内、外来診察担当医表 |
| 6 P : 医療安全にご協力をお願いします!! | |



独立行政法人 国立病院機構
東名古屋病院
NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION
HIGASHI NAGOYA NATIONAL HOSPITAL



〒465-8620
名古屋市名東区梅森坂5-101
TEL 052-801-1151
FAX 052-801-1160
ホームページアドレス
<http://www.tomei-nho.jp/>

健康長寿



臨床研究部長（泌尿器科医長） 岡村 菊夫

この8月に名古屋市在住の112歳男性が、世界1長寿男性としてギネス認定された。これまでの世界の長寿最高記録を調べてみると、男性が116歳、女性が122歳であった。遺伝学的に見るとヒトの寿命は110歳が限界とされているから、これらの人たちは超・ウルトラ・スーパー高齢者である。しかし、この超人達にも必ず最後に死が訪れる。誰もが経験するということになれば、神さま・仏さまも「死を迎える」ことを決して辛いものにはしないであろう。

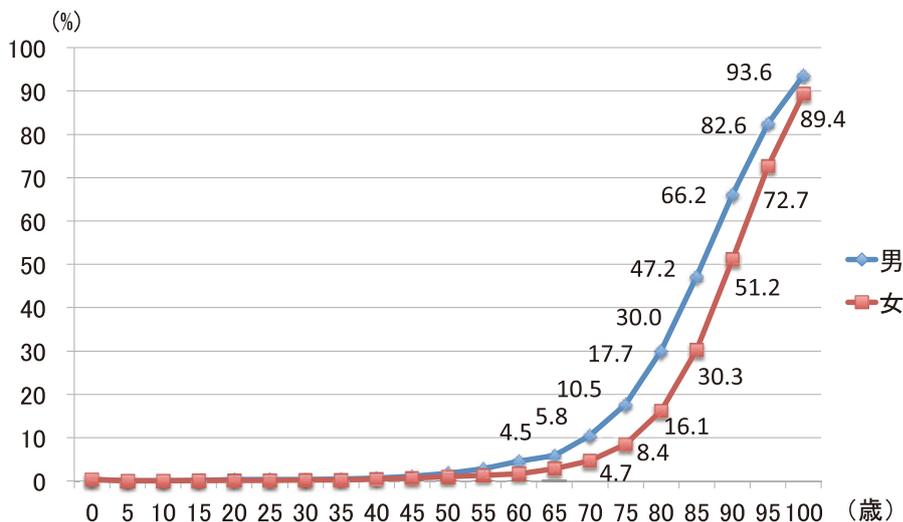
近年、「健康長寿」という言葉が四文字熟語としてよく使われるようになった。しかし、これは「健康」と「長寿」という二つの言葉を組み合わせただけであって、対語となる「不健康」と「短命」の入った「不健康長寿」、「健康短命」、「不健康短命」の組み合わせもありうる。老年医学の分野では、「110歳近くまで健康に生きれば、不健康な時期を最短化できる」というのが一つの目標である。ピンピンコロリという単語もいつか流行ったが、急に死なれると残された家族の心の痛手は大きい。自分だったら、2週間くらい苦しそうな姿を見せて逝くのが良さそうだと思う。

近年、老衰で亡くなる高齢者も増えているそうだが、人は、多くの場合、年を重ねるに従い、何かの病気にかかって人生の最後を迎える。表は、平成24年度の日本人の生命表から計算した5年以内に死亡する確率を示したものである。60歳、70歳、80歳男性の5年以内死亡率はそ

れぞれ4.5%、10.5%、30.0%、女性ではそれぞれ1.6%、4.7%、16.1%である。平均寿命は男女で5～6歳の差があるから、女性の5年以内死亡率は同年代の男性の半分くらいである。読者の方も、思ったより低いパーセンテージとされたのではないだろうか。加齢とともに、死亡確率が上がるのはやむを得ない。私がここでこんな数値を示したのは、その日を迎える覚悟を持たなければ、「よく生きる」ことはできないのではないかと思うからだ。「自分のやるべきことはやった」、「あるべき姿で生ききった」と思える日々を暮らし、悔いのない人生を送るのが大事だと思うこの頃である。

私は泌尿器科医であるから、私のところには、もちろん泌尿器癌（膀胱癌、腎癌、前立腺癌など）の患者さんもおいでになるが、「おしっこが近くて困る」、「出にくくて困る」、「漏れて困る」といった症状に悩んで訪れる方が多い。2年前から始めた女性泌尿器科外来には、骨盤臓器脱に悩む患者さんもみえるようになった。患者さんが困っているすべての症状を完璧に取り除くことはできないけれども、できるだけ煩わされなくてすむようにしてあげたいと思う。そのことが、患者さんが「自分の人生を、思う存分生き切る」助けになると思う。できるだけ長命を目指すことよりも、この世にあるうちの「生活の質」を最大限重んじた医療こそが今求められているのではないだろうか。

5年以内に死亡する確率



病気とのつきあい方

オーラル・フレイル

～ちょっとした食べこぼし、ムセにご注意～

歯科口腔外科医長 奥村 秀則



ちょっとした滑舌の悪さ、食べこぼし、飲み物にむせるといったお口のトラブルは、高齢者の体が弱っていくサインの一つです。最近、そういった不調をまとめて「オーラル・フレイル（口腔機能の虚弱）」と呼んでいます。「フレイル」というのは、「（年齢に伴って）筋力や心身の活力が低下した状態」のことです。高齢者の多くは、「フレイル」の段階を経て、要介護状態になるので、早期発見をして対処することが必要です。この「フレイル」が、歯やお口に起こるのが「オーラル・フレイル」です。

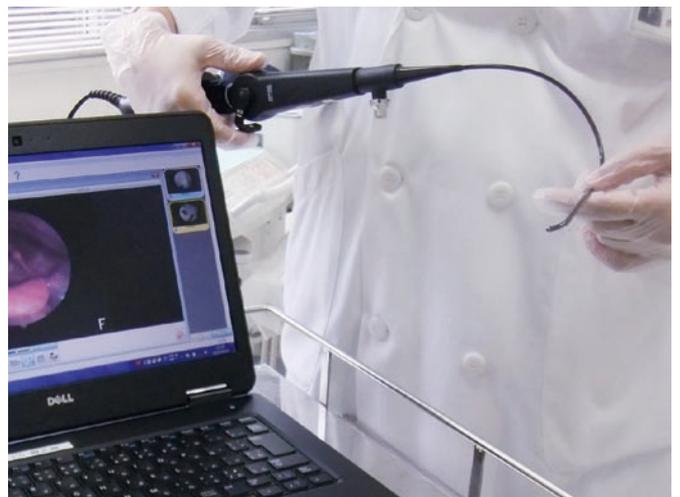
歯周病や虫歯を放置したり、歯を失ったままにしておくと、お口の機能が低下して、滑舌が悪くなったり、食べこぼしたり、飲み物にむせたり、食べることができないものが増え、食欲が低下したりバランスの良い食事を摂ることができなくなります。この状態が、「オーラル・フレイル」です。この状態が続くと、噛む力や舌の動きが弱くなり、食べる量が低下します。そしてそれが、低栄養や全身の筋肉量の減少や筋力の低下を引き起こし、ひいては要介護状態に陥ることが懸念されます。そのため、ささいな歯やお口の機能の低下を軽視しないことが大切なのです。このわずかな歯やお口の機能の衰えは、身体の衰えと大きく関わっているのです。

お口の不調のサインとして、「ちょっとした滑舌の悪さ」、「ちょっとした食べこぼし」、「飲み物にむせる」、「硬いものが食べにくい」、「口が乾く」などがチェックポイントです。こうした症状がありましたら、早めに歯科受診していただき、歯の治療をしたり入れ歯を作ったりする

とともに、飲み込みの検査を受けていただくことが大切です。

東名古屋病院の歯科口腔外科でも、こうした歯科治療はもちろん、飲み込みの検査のための唾液嚥下検査や水飲み検査などの他、嚥下内視鏡の検査を受けていただくことができます。嚥下内視鏡は、3mmくらいの細いファイバーを鼻から通して、喉の動きを観察したり、液体や食べ物がお口から喉に入ってくる状態や、飲み込みの状態を観察することができます。

「オーラル・フレイル」に予防のためには、ご家族や友人と楽しく食べ、おしゃべりしたり歌ったりすることが一番です。しかし、お口の不調を感じたら、早めに歯科受診をして、お口の機能の低下を防ぎましょう。



看護部紹介

重度心身障がい児者病棟

北1病棟副看護師長 山本 一乃



当病棟は、病床数50床の病棟です。脳性麻痺の患者さんを中心に医療と福祉を提供しています。患者さんは重度の発達障害に身体障害・心身障害をあわせもっています。医師・看護師・児童指導員・保育士・療養介助員・養護学校教諭・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などのチームで看護を提供しています。病棟では年間を通して季節行事・誕生日会を取り入れて患者さんのQOLの向上に努めています。

平成25年12月にぬくもりサポート館が完成し、本館から引っ越しをしました。ぬくもりサポート館では病棟内に養護学校、家族室が併設されました。

養護学校では授業中もモニター観察などができるようになり安心して患者さんが就学できるようになりました。登校できない患者さんにはベッドサイドでの授業をおこなっています。家族室はご家族間のコミュニケーションや患者さんとともに過ごせるようになっています。ご家族の面会時には一緒に看護を実施するなどご家族への介護方法の指導にも力を入れており、ご家族との関わりを大切にしています。

患者さんは生活全般において看護を必要としています。患者さんの合併症や心身状態の把握にきめ細やかな観察をしながら、成長発達段階やADLを把握し、できるところは患者さんにやらしてもらえるようにカンファレンスで意見交換をおこなっています。食事はできるだけ自分で食べられるように食事内容・配置・介助方法を工夫しています。昼食は食事を摂る患者さん全員で食べるようにしており、患者さん同士のコミュニケーションの場となっています。入浴はリラックスの場でもあるため医師の協力も得

ながら安全に入浴できるようにしています。またリラックスした体位で過ごせるようにリハビリと調整しています。

毎週火・水・金曜日には午前、午後に療育がおこなわれます。療育では視覚、聴覚、ボディータッチ等の刺激から患者さんの良い表情を導き出せるようになっています。誕生日会や季節行事はご家族もともに参加される方も多くみえ笑顔であふれています。

近年のNICUの進歩により、重症な患者さんも入院されてくるようになりました。スタッフが知識を高めて患者さんを受け入れるようになっています。また、現在2床のショートステイを受け入れています。ショートステイではできるだけ在宅と同じ生活を送れるように看護しています。繰り返し利用される患者さんが多くみえます。ご家族、患者さんともに笑顔でみえ、帰って行かれます。患者さん、ご家族の笑顔に私たちスタッフもうれしく思っています。

病棟全体が明るい雰囲気構成されています。その中で笑顔で過ごしていただけるように患者さん個々を大切にした医療、看護をチームで提供しています。



部署紹介

リハビリテーション部(理学療法)の紹介



理学療法士長 大西 靖

リハビリテーション部では、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)の3職種が連携してリハビリ訓練を行っています。

今回は、理学療法について紹介します。

理学療法で行う治療は、主に以下のような内容になります。

皆さんが毎日繰り返し行っている基本的な動作の「起き上がり」「立つ」「歩く」などの生活に不可欠な動作の訓練を行います。また、筋力をつける事、関節などの柔軟性を高め、バランス能力を高めるなど身体機能を改善し、耐久性を高めるような運動を行っています。

在宅に向けては、自宅や地域で自立した生活を過ごせるよう体の状態に合わせた住宅改修や福祉機器の使用法などをアドバイスするなどのサポートも行っています。

当院では、どんな方が理学療法を受けているかというと病気やけがの状態が安定し、在宅に向けて積極的にリハビリを行う必要のある方(一般的に回復期と呼んでいます)、家庭でその人らしく生活を送っていくために機能を維持し向上をはかる必要がある方です。リハビリを目的に転院していらっしゃる方も多くいます。

高齢化社会となり、高齢の方が多くなるにつれ、これからは元に戻すリハビリとともに、今

の健康を維持して運動機能低下や転倒をどう予防するかということも大切になってきています。

当院で行っている取り組みのひとつに「転ばない生活講座」があります。これは、神経難病で入院していて転倒リスクが高い方やそのご家族を対象に医師、看護師、理学・作業療法士が連携し、それぞれの立場で転倒予防に関する注意点やグッズの紹介、予防のリハビリなどを指導しているものです。

理学療法士は、転倒を予防するための筋力強化の方法、転倒時の起き上がり介助の方法などを担当しています。体や運動に関する専門知識を生かして指導に関わっています。今年度は、盛況のうち終了しました。(案内:下の写真)

みなさんも最近、姿勢がかがんでいるとか、歩幅が小さくなったとの指摘を受けたり、すり足やつま先の引っ掛かりが多くなったと感じていませんか?転んでケガをする前に体の柔軟性や筋力を強化してみてもいいでしょうか。



転ばない生活講座

～自宅で安全にすごすため～

日時:平成27年8月26日(水)
14:00~15:00

場所:国立病院機構 東名古屋病院
ぬくもりサポート館 北1階 療育訓練室

講義内容

- ★「転倒」って? 神経内科医師 齋藤 由扶子
- ★ 転ばないためにはどうしたらいいの?
- ★ 転ばない、転んでも大事に受けないグッズを使って 神経難病検査看護師 大澤 志穂美 中脇 千尋 中畑 唯 松尾 美沙 沖 八恵子
- ★ 転ばないためのリハビリ 理学療法士 神納 雅也 作業療法士 永富 浩志

定員:30名
定員とは別に付き添いの方は1名まで可能とさせていただきます。また、ご家族のみの参加も同様とさせていただきます。
対象:パーキンソン病・脊髄小脳変性症・多系統萎縮症・筋萎縮性側索硬化症・進行性骨上性麻痺などで加療中の高齢者、ご家族様が対象となります。

応募方法
参加を希望される方は、電話またはFAXにて、住所・氏名・電話番号・付き添いの有無を下記までに、お知らせ下さい。

<申し込み・問い合わせ先> 月~金曜日(9:00~17:00)
〒465-8620
名古屋市長区梅森坂5-101
TEL (052) 801-1151
FAX (052) 801-2104
独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院
地域医療連携課 清水

<会場へのアクセス>
地下鉄東山線藤ヶ丘駅下車
市バス5番 東り通のり「東名古屋病院」駅または「梅森坂」行き

医療安全にご協力をお願いします!!



医療安全管理係長 川上喜美代

最近では医療安全やリスク管理という言葉が当たり前になってきました。一般的に、病院に対する市民の皆様の信頼度は大きく、病院で間違いが起こるはずがないという認識を持たれています。しかし、実際には医療は人間が行う行為ですので、全てが完璧ではありません。もちろん患者様に提供する直前までにエラーを発見し修正できるように何重にも確認作業を行っています。医療は日進月歩であり、それに伴い医療機器や医療材料などシステムにエラーを防止する工夫も進歩していますが、システムをもって防ぎきれないエラーがあります。

では、なぜエラーが発生するかその仕組みをご紹介します。まず、人間が間違える生き物で

あるということが大前提にあります。人間の特性として、①認知の特性、②期待聴取、③社会的特性などがあります（表1）。これらはヒューマンエラーといって一定の確率で起こります。また、医療現場はエラーを引き起こしやすい環境にもあります。決められた時間に複数の患者様の検査や処置、食事の援助、排泄の援助など多くの業務があり、そのため焦りが生じたり、緊急入院や患者様の急変など予期せぬ出来事が起こり、電話やナースコールなどによる業務の中断が余儀なくされます。このような状況ではどんなに注意していてもエラーが起きてしまいます。このことは医療現場だけでなく、どこでも起こります。

表1 人間の特性

①認知の特性	私たちは一見全てのものを見ていると思いがちですが、実は見たいものだけ（見たいように）見えています。 例えば、友達や家族と街を歩いているときにすれ違った人の話をした時に、自分が気になったものと相手が気になったものが違い、全然違うところを見ていたなんてことがあります。
②期待聴取	音についても音をそのまま聞いているように思いがちですが、実は聞きたいものだけ（聞きたいように）聞いています。 例えば、アルファベットのB（ビー）とD（ディ）や4日（よっか）と8日（ようか）などはよく聞き間違えることがあります。
③社会的特性	思っても言えない、みんながそういうから、みんながやってるから、誰かがきっとやるだろう、あの人がよいと言ったからと周りの状況に合わせて行動してしまうことです。

そこで、医療を受けられる患者様にも共同して医療安全に協力をお願いしたいと思います。近年、患者参加型医療安全と言われております。外来受診や検査、会計など毎回患者様・ご家族に名前を名乗っていただいております。これは、医療者が患者様の氏名を読み上げると氏名が間違っても返事をしてしまうということがどこの施設でも発生しているからです。患者様・ご家族に自ら氏名を名乗ってもらうことで間違いが防止できます。そのほか、入院中の患者様・ご家族と医療者が一緒に薬や書類の氏名など現物が合っているか確認したり、治療、検査

について医療者の説明に対して疑問や質問があれば気軽に話してもらおうなど共同して医療を進めていくことでエラーが防止できます。また、電子化の普及でコミュニケーション不足によるエラーも時々起きています。人と人が接する医療ではコミュニケーションが大切であり、エラー防止だけでなく患者様・ご家族と医療者との食い違いも防止できます。コミュニケーションよく安全で安心な医療を提供できるようにしていきたいと思います。皆様の医療安全に関するご理解とご協力をお願いいたします。



職員募集

常勤／非常勤療養介助員		非常勤看護師	
応募資格・その他	随時 介護職員初任者研修修了(旧ホームヘルパー2級)の資格者 ※介護福祉士免許所有者は対象外となります。 勤務時間応相談	応募資格・その他	平成27年度随時 看護師免許をお持ちの方 勤務時間応相談 平成27年度随時 ～平成28年3月31日
手続必要書類	履歴書、資格証(写)のご提出		
採用試験	試験日	応募書類受理後随時連絡します。(随時実施)	
	試験内容	面接	
問い合わせ先	〒465-8620 名古屋市名東区梅森坂5丁目101番地 当院 人事担当者 又は 当院HPまでお願いします。(http://www.tomei-nho.jp/recruit/)		

高校生1日看護体験を開催して



教育担当看護師長 松下 剛

8月5日、7日に高校生1日看護体験を開催しました。2日間で男子学生3名を含む総勢23名の方が参加しました。この看護体験は実際に看護の現場にふれて、看護という仕事がどんなものなのかを知ってもらうことを目的としています。参加者は名古屋市内や日進市内の高校だけでなく、稲沢の高校からも申し込みがありました。

開催当日、集合時間の1時間前から病院に到着していた方や遠く稲沢からも参加してくれた方も30分前には病院に到着しており、看護体験に対する積極性を感じました。高校の制服を着ている間は友達と談笑するなど、リラックスした雰囲気でしたが、高校の制服から白衣に着替え、看護部長からの話を聞くころには、少しずつ緊張している様子がうかがえました。

簡単なオリエンテーションを行った後2～3名のグループに分かれて実際の現場へ向かいます。現場では、病棟の簡単な説明を聞いた後、患者さんのところへ行き、実際に食事介助や清潔ケアの場面を見ながら、看護師からの説明を真剣な表情で聞いていました。病棟にいった直後は白衣に着替えた後よりもさらに緊張した表情を浮かべていましたが、少しずつ緊張もほぐれ病棟での体験が終わるころには患者さんと笑顔で話ができるようになっていました。

病棟での体験後に意見交換会を行いました。その中で「患者さんに合った看護が必要だと思った」、「患者さんとのコミュニケーションが大切だと思った」などの意見や「やりがいが見

つけられる仕事だと思った」との意見もあり、とても良い体験ができたのではないかと思います。また、今回の看護体験に参加した理由を聞くと「小学校の時から看護師になりたいと思った」、「小さい頃に入院していた時に看護師にお世話になったから自分もなろうと思った」との意見も聞かれ、小さい頃からあこがれて看護師を目指す姿をうれしく思い、そう思われる看護師が当院でも増えてほしいと思いました。

今年は男子高校生が3名と昨年に比べて増えており、このまま男性看護師がもっと増えてほしいと願っています。最近では男性看護師も珍しくないかもしれませんが、まだまだ少ないのが現状です。また、男女関係なく、看護師は慢性的な人材不足であり、これを機会に看護師になり、一緒に現場で働く方が増えてくれることを願っています。

最後に今回参加していただいた高校生の皆さん、ありがとうございました。そして、協力していただいた患者さんの皆さまに感謝申し上げます。



地域包括ケアシステムと入院から在宅まで

退院調整看護師長 橋口 桂子



4月から退院調整看護師長として地域医療連携室で勤務しております。今回は、みなさんもすでにご存じと思いますが、地域包括ケアシステムについてと、病院で行っている入院から在宅までの流れを一部紹介したいと思います。

地域包括ケアシステムとは

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしく生活が続けられることを目的としています。具体的には、医療、介護、介護予防、生活支援、住宅の5つのサービスを充実し、利用者が活用していくことで地域包括ケアを推進していこうとしています。

厚生労働省が示す「地域包括ケア」は「利用者のニーズに応じて適切にサービスが提供されること」を意味しています。さらに、これらのサービスが入院、退院、在宅復帰を通じて切れ目なく継続的に提供されることを挙げています。

「地域包括ケアシステムの実態は全国一律の「システム」でなく「ネットワーク」であり、具体的なあり方は地域によって大きく異なる」といわれています。

地域にある多職種・他機関を点から面につないでいく連携と協働が成功の鍵であるとされています。

入院から在宅まで

入院されましたら病棟看護師から患者さんや

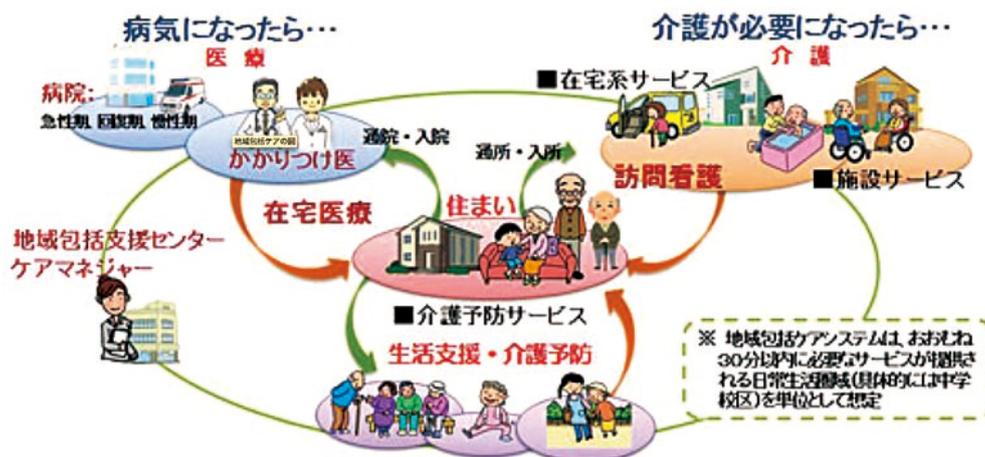
ご家族に、病状の経過を伺うとともに、退院支援や退院調整が必要なのか確認をしています。

退院後に何らかの介護が必要と予想される時は、介護保険の申請方法を説明しています。また、患者さんやご家族に了解を得てケアマネジャーや訪問看護師との情報交換をしています。自宅に退院される場合は、病棟看護師から、ご家族にオムツ交換や吸引指導、経管栄養指導など必要な指導を行なっています。また、福祉用具や住宅環境（手すりや段差解消）作りが必要な場合は、その調整もしています。

退院前カンファレンス

退院に向けて在宅チームとの連携を行ない継続的にサービスを提供するために退院前カンファレンスを行なっています。参加者は患者さんご家族、医療チーム、在宅チームで話し合いをしています。社会資源を活用しつつ新たな生活に移行できるように橋渡しを行っています。医師から病状説明・緊急時の対応、看護師からケアや処置、リハビリスタッフからリハビリの状況など情報交換と、今後おこりうる生活の問題と対応方法など話し合います。

今回紹介したことは全体の流れの中のほんの一部です。入院生活や退院について不安なことがございましたら、病棟スタッフや地域医療連携室にご相談ください。



外 来 案 内

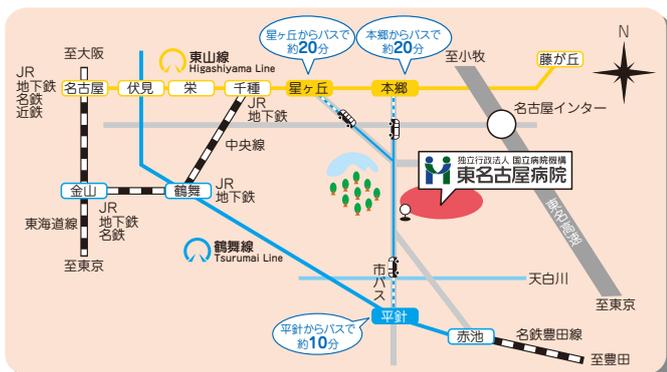
- 診療受付時間 午前8時30分～午前11時まで（緊急の場合はこの限りではありません）
- 診療開始時間 午前9時～
- 休 診 日 土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 初診時の特別料金 他の医療機関等からの紹介ではなく、直接当院に来院された患者さまは、初診にかかる費用として、2,160円（税込）をいただいております。ご了承下さい。
ただし、緊急その他やむを得ない事情により他の医療機関からの紹介によらず来院された場合にあってはこの限りではありません。

外来診察担当医表

（平成27年10月8日現在）

診療科	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (初診)	足立 崇	中原 義夫	林 悠太	山田 憲隆 中川 拓 第1・3 第2・4・5	垂水 修
	垂水 修	清水 信	中原 義夫	足立 崇	林 悠太
	中川 拓	山田 憲隆	中川 拓 小川 賢二 第1・3 第2・4・5	小川 賢二	中村 俊信
循環器内科	野田 浩範	野田 浩範	早野 真司	野田 浩範	西村 和之
神経内科 (初診)	犬飼 晃	横川 ゆき	橋本 里奈 片山 泰司 第1・3 第2・4	饗場 郁子	齋藤由扶子
	饗場 郁子	片山 泰司	犬飼 晃	齋藤由扶子	榊原 聡子
	横川 ゆき		榊原 聡子	橋本 里奈	
消化器内科	横井 美咲	高橋 宏尚	高橋 宏尚 小林 慶子 (交代制)	小林 慶子	高橋 宏尚 小林 慶子 (交代制)
呼吸器外科			山田 勝雄		
外科・消化器外科	渡邊 正範	加藤 俊之 野浪 敏明	藤崎 宏之 野浪 敏明	永田 博 加藤 俊之	渡邊 正範
肛門外来	渡邊 正範	加藤 俊之	藤崎 宏之	永田 博	渡邊 正範
乳腺外科	遠藤登喜子 林 幸枝 8:30～11:00, 13:30～15:30	遠藤登喜子 8:30～11:00, 13:30～15:30	遠藤登喜子 8:30～11:00, 13:30～15:30	小川 弘俊 13:30～15:30	遠藤登喜子 角田 伸行 8:30～11:00, 13:30～15:30
整形外科	金子真理子	大場 満成	大場 満成	金子真理子	大場 満成
リウマチ科		大場 満成	大場 満成		大場 満成
脳神経外科					竹内 裕喜
泌尿器科	岡村 菊夫		青田 泰博 岡村 菊夫 13:30～15:30 女性泌尿器科外来		岡村 菊夫
精神科					宇佐美 敏
総合内科	間宮 均人	龍華 朱音	間宮 均人	内海 眞	
血液・腫瘍内科	神谷 悦功	朴 智栄	清水 一之 8:30～11:00, 13:30～15:30	神谷 悦功 小椋美知則 午前 午後(隔週)	龍華 朱音
禁煙外来		(予約制) 13:30～14:30			
内分泌内科				大竹 裕子	村瀬 孝司 伊藤 崇浩 山田 努 第1・3 第2・4 第5
小児科	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子
皮膚科	加藤 愛	加藤 愛	加藤 愛	田中 伸 第4 12:45～14:45	加藤 愛
歯科口腔外科	奥村 秀則	奥村 秀則	奥村 秀則 薮田 純代 午前 午後(第3水曜休診)	奥村 秀則	奥村 秀則
ドック	外来人間ドック (予約制)				

※予約制は再来診の場合のみです。初診の場合は通常どおりの診療となります。
 ※救急診療は、時間外・休日も行っていますので、時間外窓口にご連絡下さい。(052-801-1151)
 ※当院では、隔週月曜日に外来人間ドック(予約制)を行っていますのでご利用下さい。
 ※セカンドオピニオン外来(予約制)を行っていますのでご利用下さい。
 ※小児科・禁煙外来は完全予約制です。
 ※女性泌尿器科外来・乳腺外科・血液・腫瘍内科 午後(隔週)の受付時間は15:30までとなっております。



- 地下鉄東山線星ヶ丘駅下車
 - ・市バス③番のりば 東名古屋病院行き 梅森荘行き } 約15～20分 東名古屋病院にて下車
 - ・星ヶ丘よりタクシーにて約15分
- 名鉄豊田新線・地下鉄鶴舞線赤池地下車
 - ・タクシーにて約8分
- 地下鉄鶴舞線平針下車
 - ・市バス①番のりば本郷行き約10分 東名古屋病院にて下車
 - ・タクシーにて約8分
- 地下鉄東山線本郷駅下車
 - ・市バス①番のりば地下鉄平針駅行き 15～20分 東名古屋病院にて下車
- 東名高速道路名古屋インターより車で約20分